

2022年8月1日 発行

イオンコンパス株式会社
流通視察ドットコム <http://www.ryutsu-shisatsu.com/>

↓その他情報はサイトにアクセス!

■ クローガーがサブスク全国展開へ(7/15)

スーパーマーケット業態でトップの売上を誇るクローガーは、昨年11月から開始した年会費59ドルまたは99ドルのサブスクリプション・サービスのBoost by Kroger Plusを全国に拡大すると発表しました。年会費59ドルでは、35ドル以上のオンラインオーダーした食品の翌日デリバリー、年会費99ドルなら、35ドル以上のオンラインオーダーした食品の2時間以内のデリバリーが可能となります。

通常1回9.95ドルのデリバリーが何回でも無料となり、更にクローガー店舗併設のガソリンスタンドでの給油が1ガロン当たり1ドル割引、クローガーPB商品 Our Brandの特別割引など様々な特典を受けることが可能で、一人当たり年間最大1,000ドル相当の節約が可能ということです。

クローガーは現在クローガー、ハリス・ティーター、ラルフス、フード4レス等28のバナーで約2,800店舗を全国展開しています。

■ 最新「食のイノベーション」ランキング(7/22)

ニューヨークを拠点にブランド・ロイヤルティに関する調査およびコンサルティングを行っているBrand Keys Inc.が、7,420人のアメリカ人（男女比50：50、16歳～65歳）を対象に行った「食品ブランドのイノベーションリーダーは？」という調査結果を発表しました。

以下がトップ9ブランド（企業）のランキングです。

1. Beyond Meat（代替肉、植物由来肉）
2. Pringles (Kellogg's)（スナック菓子）
3. Doritos (PepsiCo)（スナック菓子）
4. Impossible Foods（代替肉）
5. Coca-Cola（飲料）
6. Starbucks（コーヒーチェーン）
7. Trader Joe's（食品小売）
8. Oatly（ヴィーガン向け乳製品～スウェーデン）
9. Amy's Kitchen（オーガニック食品）

今流行の代替肉やオーガニック食品ブランドや大手食品メーカーが多い中、食品小売企業として唯一トレーダー・ジョーズがランクインしました。

独自のPB食品を定期的に提供し続けている点が消費者から‘革新的’と評価されました。

トレーダー・ジョーズは全米43州で約530店舗を展開している人気グロサリーチェーンです。

■ 英国食品小売ビッグ4に異変(7/28)

英国における食品小売市場は、長年上位4社（ビッグ4）による寡占状態で知られています。ビッグ4とは、テスコ（Tesco）、セインズベリーズ（Sainsbury's）、アズダ（Asda）およびモリソンズ（Morrisons）ですが、かつてはこの4社で80%以上のシェアを独占する異常な寡占状態でしたが、英国の市場調査会社大手のカンターワールドパネル（Kantarworldpanel）社がまとめた最新の英国食品小売市場シェア（2022年7月10日までの12週間）調査結果が発表され、4位のモリソンズがビッグ4から陥落の危機となっており、長年続いたビッグ4の構図に変化が起きそうです。

英国小売市場最新のランキングと、10年前（2012年7月）のランキングは以下の通りです。

◆2022年7月市場シェア（ビッグ4シェア 65.1%）

- | | |
|-----------|-------|
| ①テスコ | 27.1% |
| ②セインズベリーズ | 14.9% |
| ③アズダ | 13.7% |
| ④モリソンズ | 9.4% |
| ⑤アルディ | 9.1% |
| ⑥リドル | 7.0% |
| ⑦コープ | 6.3% |
| ⑧ウェイトローズ | 4.6% |

◆2012年7月市場シェア（ビッグ4シェア 76.5%）

- | | |
|-----------|-------|
| ①テスコ | 30.9% |
| ②アズダ | 17.3% |
| ③セインズベリーズ | 16.5% |
| ④モリソンズ | 11.8% |
| ⑤コープ | 6.7% |
| ⑥ウェイトローズ | 4.5% |
| ⑦アルディ | 2.9% |
| ⑧リドル | 2.8% |

ビッグ4による市場シェアは大きく落ちてきており、代わりにドイツ発のハードディスカウントチェーンのアルディとリドルの大攻勢が顕著となっています。この傾向は英国以外の欧州各国でも見られ、遠くアメリカでも同様です。今後も英国の食品小売市場に注目です。